

東京学芸大学附属図書館 所蔵資料を読む 教育関連資料①

源氏かるた絵合

デジタルアーカイブ収録資料には、くずし字や変体仮名で本文が記されているものが数多くあります。こうしたものについて、読みやすい文字に改めた翻刻資料を用意しました。原資料にどんなことが書かれているのか読みながら、遠い昔の学びの世界をのぞいてみませんか。

資料について

画作者：洗心斎綾岡（本紙）・楊州周延（袋）
 版元：前田喜兵衛
 出版時期：明治二十一（一八八八）年
 請求記号：798/YA 所在：日本近代教育史資料、
 デジタル公開データ <http://hdl.handle.net/2309/125322>



解説

「源氏かるた絵合」は、『源氏物語』を題材とした遊戯具の一つであったようです。中央に描かれた女性は紫式部です。物語の執筆を拝命した紫式部が石山寺に参籠し、琵琶湖に映る中秋の名月を眺め、その光景から靈感を得て、須磨の「今宵は十五夜なりけり」から執筆したという伝承に基づき絵柄となっています。周囲には、五十四のコマがあり、『源氏物語』五十四帖の巻名が記され、併せて各巻に関連した絵柄（趣意絵）が描かれています。詳しい遊び方は、付属の袋の裏側に書かれており、遊び方を知ることができません。本資料に付属していたと思われる手札は、残念ながら失われています。

（参考文献）東京学芸大学附属図書館 特集 近世庶民教育資料から見た源氏物語―双六・往来物を中心に―源氏物語千年記念 附属図書館企画展示 開催報告：遊戯具 附属図書館報…
 ライぶらり 2009, 37(4), p.4. <http://hdl.handle.net/2309/97052>. (参照 2021-09-08.)

ほんこく 翻刻

東京学芸大学附属図書館は、市民参加による翻刻プロジェクトである「みんなで翻刻」に参加し、「東京学芸大学「学びと遊びの歴史」を翻刻！」というプロジェクトを通して所蔵資料の翻刻を進めています。本資料は、ここで作成されたデータ（令和3年9月17日ダウンロード）を使用して作成されています。

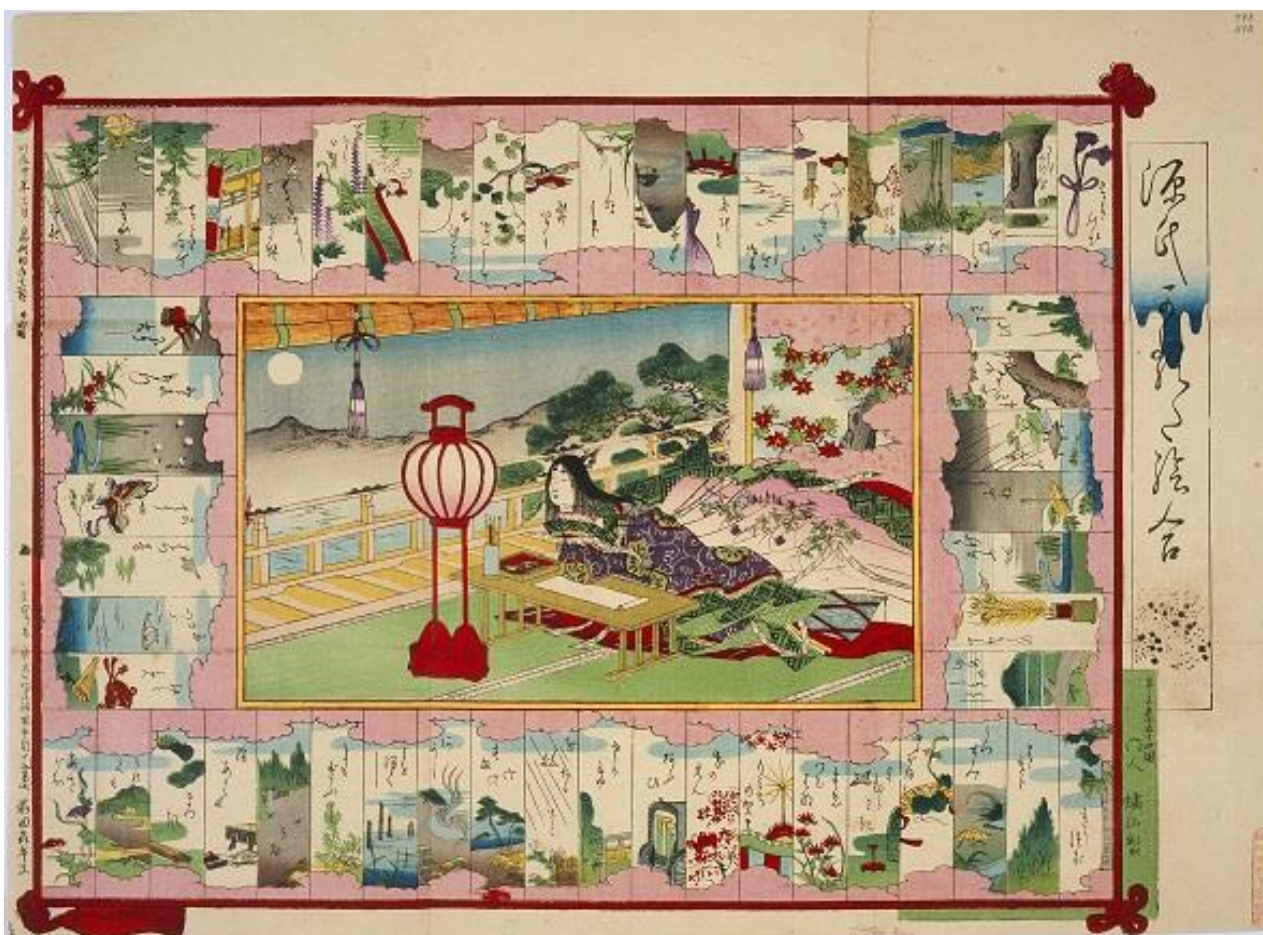
＊みんなで翻刻 <https://honkoku.org/>
 ＊東京学芸大学「学びと遊びの歴史」を翻刻！（コレクション1）
<https://honkoku.org/app/#/projects/gakugei/info>

【凡例】

- ・翻刻は「みんなで翻刻」の「翻刻ガイドライン」に従っています。
- ・漢字はできるだけ当用漢字の字体に準拠して翻刻しています。
- ・「ミ」「ハ」「乃」なども変体仮名として捉え、平仮名で翻刻しています。
- ・常用漢字・新字体のわからない異体字・旧字体については、そのまま翻刻しています。
- ・濁音、句読点、段落、スペース（罫字）、改行等は、原文のまま翻刻しています。
- ・反復記号「ゝ、ゞ、ゝ、ゞ、と、々、く、く」は原本通りとしました。
- ・虫食い、汚れ等のために文字が判読できない箇所は、「□」で示しています。
- ・翻刻した本文の説明、注記は赤字で「**【**」に入れて示しています。

次のページから、
早速読んでみましょう！





資料の大きな画像は、附属図書館デジタルアーカイブのページでご覧いただけます。(PC、タブレット、スマートフォンで閲覧可能です。)
<http://ir.u-gakugei.ac.jp/images/kms-kmi-view/viewer/10803354-1>

欄外①	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	1
	29																	50			
	28																	51			
	27																	52			
	26																	53			
	25																	54			
	24																	55			
	23																	56			
欄外②	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2

〈本体〉

1 源氏かるた絵合

2 卷之意五十四図

門人

3 繡山製

4 きりつぼ

5 はくぎ

6 うつせみ

7 ゆふがほ

8 わかむらさき

9 すゑつむはな

10 もみちの賀

11 花のえん

12 あふい

13 さかき

13 花ちるさと

14 すま

15 あかし

16 みをほくし

17 よもぎふ

18 せき屋

19 絵あはせ

20 まつ風

21 うすくも

22 あさがほ

23 おとめ

24 玉かつら

25 はつ音

26 こてう

27 ほたる

28 とこなつ

29 かぐり火

30 野分

31 みゆき

32 ふちばかま

33 まきばしら

34 梅かえ

35 藤のうら葉

36 若菜 上

37 わかな 下

38 かしわ木

39 よこ笛

40 すゞむし

41 夕霧

42 みのり

43 まぼろし

44 にほふみや

45 紅梅

46 竹川

47 はしひめ

48 しいがもと

49 あげまき

50 さわらび

51 やとり木

52 あづまや

53 うきふね

54 かげろふ

55 てならひ

56 ゆめのうきはし

欄外①

明治廿一年十一月 日印

刷同年十一月 日出版

欄外②

画 刷兼発行者 東京々

橋区銀座三丁目十五番地

前田崑兵エ

〈袋〉

袋（表）



(1) 源氏かるた
絵あわせ

かるた

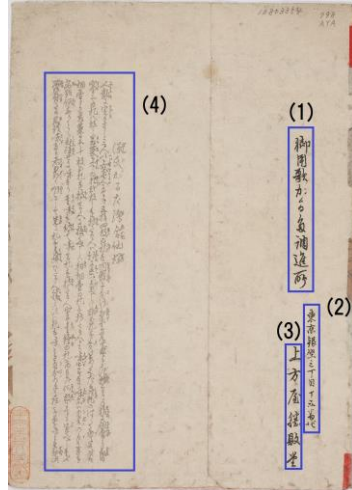
五十四枚付属

(2) 楊州

周延

袋の大きな画像は、附属図書館デジタルアーカイブのページでご覧いただけます。
(PC、タブレット、スマートフォンで閲覧可能です。)
<http://ir.u-gakugei.ac.jp/images/kms-kmi-view/viewer/1080335-f-2/>

袋（裏）



(1) 御用歌かるた調進所

(2)

(3) 上方屋勝敗堂

(4)

(4) 源氏かるた絵合仕様

人数に定りなし三人以上幾人にも五拾四枚の札を同数に分け相互に見せぬように持なり。始に桐壺より花の

宴までの札八枚と若菜上下の札式枚とを持たる人は初に並べ置べし。始め札を分けあたへたる時札のはした出たる時は

桐壺より若菜まで十枚の札を持たる人に授くべし。扱桐壺の札を持たる人より呼出すなり呼名は自分の手になき

名を何なりとも心任せに呼なり其呼を待て呼たる札を持たる人出す其続の札あれば何枚にても出すべし其人



思おもひ付つきたる名なを呼よびなり右みぎの如ごとく順じゆんにして先さきに札てはらを手て拂はらひたる人かち勝かちとす。札てはらを呼よぶとき自分じぶんの手てに持もつたる名なを呼よぶときは恥はぢとす

【遊び方について（袋裏面の内容からまとめられています）】

人数…3人以上

準備…54枚の札を参加者それぞれに同じ数になるように配る。配られた手札は互いに相手に見せないようにする。

次に、配られた札のうち桐壺から花の宴までの8枚と若奈上下の2枚を絵図に並べる。

札を配った際に、札が余る場合は、桐壺から若菜までの10枚の札を持っていた人に渡す。

流れ…まず、桐壺の札を持っていた人が、自分の手札にはない巻名を適当に呼ぶ。次に、呼ばれた巻名の札を持っている人がその札を絵図に置く。その時、その巻に続く札を持っていればあわせて絵図に置く。その後、手札にない巻名を呼ぶ。そして、その巻名の札を持っている人が同様に札を絵図に置き、以降これを繰り返す。先に手札がなくなった人が勝ちとなる。また、札を呼ぶときに自分が持っている巻名を呼んでしまった場合は恥となる。

作成 令和3年 9月21日

東京学芸大学附属図書館

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/>

翻刻 「みんなで翻刻」 <https://honkoku.org/>

データを出版物等にご利用された際は、出典（画像データの利用の場合は、当館所蔵の旨）を明記してください。

※当館デジタルアーカイブ利用案内

<https://library.u-gakugei.ac.jp/digitalarchive/riyotop.html#title1>

また、ぜひ当館へお知らせいただき、成果物（出版物、抜刷、URLなど）を「提供ください」とさせていただきます。お知らせや成果物のご提供は任意ですが、利用状況の把握、研究成果の蓄積のため、是非ご協力をお願いいたします。